

縄文人のふるさと「むつ湾」を 楽しく守る協働の取組

〒030-0801
青森県青森市新町1-13-7
和田ビル3F
電話:017-721-2480
E-mail:info@eco-aomori.jp
http://www.eco-aomori.jp



ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発



若者グループクリエイティブとむつ湾海岸清掃

むつ湾の絵コンクール 参加作品	91作品
高校生のむつ湾 漂着ゴミ清掃活動	20人
今年度計画の達成度	60%
活動の全体目標に対する 達成度	50%

課題

むつ湾は入り口の狭い海であることから、一度汚染されるとなかなか元に戻せない。1万年前の縄文時代から人々はむつ湾の恵みとともに生きてきたことを忘れかけている。

目標

閉鎖性の高いむつ湾の環境を守るため、水源の山、川、海までを一体的に保全する体制を、沿岸の複数の市町村と協働で、住民に関心を持ってもらいながら構築すること。

活動内容と成果

昨年度は、青森市と協働で事業を展開したが、今年度は、青森市のほか、湾を形成する二つの半島からむつ市と外ヶ浜町との協働を実現した。むつ市では、指定されたばかりのジオパークや水道遺構の見学をした。外ヶ浜町では、

海岸から日本最古の縄文遺跡まで、1万6千年前の祖先を思いながら歩いた。

また、若い人たちに関心を持ってもらうため、高校生と大学生が中心となって活動するNPO法人と協働し、むつ湾のゴミがもっとも多く漂着する横浜町の海岸でゴミ拾いをした。

最後にフォーラムを開催し、活動の締めくくりとした。



むつ湾から最古の縄文遺跡までトレッキング

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

屋外での行事は学校行事や天候に左右されることが多く、海の行事が台風と重なるなど、思うように実施できないものがあった。

■ 工夫した点

小学生向けに紙製のキューブを使った学習プログラムを開発、授業に活用したほか、親子イベントや大人向け講座でも活用した。



今後の展望

協働の相手を広げたい。市町村の教育委員会や商工会との連携も模索したい。子ども達に、むつ湾の自然や課題を知ってもらうため、今年度試行した「キューブdeむつわん」による授業を沿岸の市町村の小学校に広げたい。